

半導体漫遊記

18

湯之上陸

7月中旬、東京ビッグサイトで、第22回マイクロマシン/MEMS展が開催された。その例で、直径4・2mmのビジネスセミナーで、「半導体LSIもMEMSもマケティックが必要不可欠」に関する講演を行った(写真1)。

MEMSもマケティックが必要不可欠」に関する講演を行った(写真1)。



MEMS マイクロマシン展での講演(写真1)

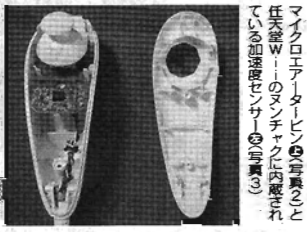
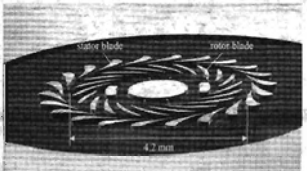
7月中旬、東京ビッグサイトで、第22回マイクロマシン/MEMS展が開催された。その例で、直径4・2mmのビジネスセミナーで、「半導体LSIもMEMSもマケティックが必要不可欠」に関する講演を行った(写真1)。

マイクロマシンやMEMSで苦戦

「何を作るか」が重要に

MEMSにより、様々な超微小センサーや超微小アクチュエータ(駆動素子)が実現でき、これらは、自動車、各種家電製品、携帯電話などの情報通信機器、医療やバイオ技術など、幅広い分野へ応用が拡大してきている。今後、エネルギーに、日本企業は苦戦している。

MEMSにより、様々な超微小センサーや超微小アクチュエータ(駆動素子)が実現でき、これらは、自動車、各種家電製品、携帯電話などの情報通信機器、医療やバイオ技術など、幅広い分野へ応用が拡大してきている。今後、エネルギーに、日本企業は苦戦している。



代は、欧米が発明したものを、高性能・高品質に作ればよかった。早い話が、作ったものを売ればよかった。ところが、韓国、台湾、中国などが台頭し、中国などが台頭して、この方法はもはや通用しなくなった。誰かが考え出したものを「どう作るか」ではなく、自ら「何を作るか」を必死に考え出さねばならなくなった。現在、世界には194カ国に70億人もの人間がいる。自分の目で見て感じて、脳みそに汗をかいて、「何を作るか」を生み出そう。

結局、日本のMEMSが苦戦しているのを見て感じて、脳みそに汗をかいて、「何を作るか」を生み出そう。

マイクロエアタービン(写真2)と任天堂Wiiのナンチャクに内蔵されている加速度センサー(写真3)